

## F. 健康危険情報

特記すべきものなし。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

後藤 雄一, 新しい神経疾患治療薬の動き  
ミトコンドリア病. Clinical  
Neuroscience 25 : 1278-1279, 2007

### 2. 学会発表

なし

厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）

（分担）研究報告書

データベースの設計についての研究

分担研究者 山崎 由紀子

国立遺伝学研究所生物遺伝資源情報総合センター系統情報研究室

研究要旨 文部科学省のナショナルバイオリソース（NBRP）データベースを作成した経験を元に、データベースの策定について意見を述べる。

A. 研究目的

NBRPの経験を生かして、メディカルバイオリソースデータベースの構築に寄与する。

公開に関しては難しい問題をはらんでいる。

（倫理面での配慮）

該当せず

B. 研究方法

分担研究者が深く関わるNBRP構築の経験に基づいた建設的な意見を行う。

D. 考察

NBRPは生物資源の所在情報の統合化と、資源管理機関のネットワーク化によって研究の活性化を図ろうとするものである。その点で、人と生物という差はあるが、研究資源の所在情報の統合化という意味では変わらない。

C. 研究結果

NBRPの概要は以下のようなものである。ラット、マウスからメダカ、カイコ、線虫、あるいは大麦、小麦、酵母など23の研究モデル生物のリソース情報、ゲノム情報、付随情報の提供と、研究資源の分譲体制の確立を目的とした研究資源事業である。そこでは、資源検索から注文までが一貫してできるWebサイトの作成を目指した。

困難な点は、情報の収集を資源収集者に依存せざるを得ないために協力を得るまでに、大変に時間が掛かる。また、収集された情報の公開許可が下りない場合もあるなど、情報の移動や

E. 結論

メディカルバイオリソースデータベースはヒト疾患研究用の生物資源についての情報を集めるため、個人情報保護やインフォームド・コンセントの際の問題などを含む点で困難が予想される。また、ヒト疾患の研究が医療という市場と結びつくという考え方があるために、資源の所在情報ですら、その共有に関しては抵抗があり得るなど、今後の利害調整の工夫が必要であろう。

## F. 健康危険情報

特記すべきものなし。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

Honda H, Kataoka F, Nagaoka S, Kawai Y,  
Kitazawa H, Itoh H, Kimura K, Taketomo N,  
Yamazaki Y, Tateno Y, Saito T.

Beta-galactosidase,  
phospho-beta-galactosidase and  
phospho-beta-glucosidase activities in  
lactobacilli strains isolated from human  
faeces. Letters in Applied Microbiology,  
45(5) 461-6 (2007)

山崎由紀子 「バイオデータベースとウェブ  
ツールの手とり足とり活用法」 National  
BioResource Project:NBRP 227-233 羊土  
社 (2007)

山崎由紀子 「バイオリソース (生物遺伝資  
源) 情報センター」 秀潤社「細胞工学」  
Vol. 26, No. 12, 1446-1449 (2007)

### 2. 学会発表

なし

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
水澤 博 小原有弘 増井 徹		水澤 博 小原有弘 増井徹	バイオ研究の舞台裏 (細胞バンクと研究倫理)	裳華房	東京	2007	
Masui, T. (増井徹)	Trust and Creation of Biobanks : biobanking in Japan and the UK.	M. Sleebloom-Faulkner, ed	Human Genetic Biobanks in Asia: Politics of Trust and Scientific Advancement	Kegan Paul	London	in press	
山崎由紀子	「バイオデータベースとウェブツールの手とり足とり活用法」		National BioResource Project: NBRP	羊土社		2007	227-233

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小原有弘 水澤 博	JCRB細胞バンク (厚労省)	細胞工学	26(10)	1177-8	2007
水澤 博 小原有弘 増井 徹	ヒト研究資源バンクの現在と将来	医学のあゆみ	222(2)	113	2007
水澤 博 増井 徹 竹内昌男 小原有弘	-190℃気相式液体窒素保存システム	Tiss. Cult. Res. Commun.	26	165-170	2007
増井 徹	包括同意、何が問題か：医学・生物学研究をめぐる内外の状況から	メディカルバイオエシックス	34	74-81	2007
増井 徹	世界のゲノム疫学研究：英国のバイオバンクを中心にして	最新医学	62	2234-2242	2007
Okamura,T (岡村智教ほか)	The relationship between serum total cholesterol and all-cause or cause-specific mortality in a 17.3-year study of a Japanese cohort.	Atherosclerosis	190(1)	216-223	2007
Kato,N (加藤規弘ほか)	Search of type 2 diabetes susceptibility gene on chromosome 20q.	Biochem Biophys Res Commun	357(4)	1100-6	2007
Kato,N (加藤規弘ほか)	High-Density Association Study and Nomination of Susceptibility Genes for Hypertension in the Japanese National Project.	Hum Mol Genet	Nov.14		2007
Kato,N (加藤規弘ほか)	HapMap coverage for SNPs in the Japanese population.	J Hum Genet	53	96-99	2008
後藤 雄一	「新しい神経疾患治療薬の動き ミトコンドリア病」	Clinical Neuroscience	25	1278-1279	2007
Yamazaki,Y (山崎由紀子ほか)	Beta-galactosidase, phospho-beta-galactosidase and phospho-beta-glucosidase activities in lactobacilli strains isolated from human faeces.	Letters in Applied Microbiology	45(5)	461-6	2007
山崎由紀子	「バイオリソース (生物遺伝資源) 情報センター」	細胞工学	26(12)	1446-1449	2007